

《皆出席者賞》

相田日出夫君・青木 道春君・井田 裕子君
大浦 英祐君・金子 良弘君・木村 健彦君
黒澤 嘉徳君・桑島 周士君・小平 和広君
後藤康太郎君・島崎 裕司君・庄司 薫君
杉森 文昭君・鈴木 征治君・高梨 正章君
高梨 恭行君・高橋 雅明君・高橋 正人君
土屋 衛君・長谷川平内君・福島 悟君
皆川 賢治君・山村 義美君・吉田 弘二君
若林智次君 (50音順)

ロータリークラブとライオンズクラブの違い。

※そもそも「社会奉仕団体」とは？

まず知っておいていただきたいのが、ロータリークラブ・ライオンズクラブのどちらも「社会奉仕団体」であるということです。では、そもそも「社会奉仕団体」とは何をする団体なのでしょう。

ざっくり説明してしまえば、ずばりそのまま「社会奉仕をする団体」です。会員には、地域社会の活動やボランティアなどに進んで参加し、進んで募金するような「社会奉仕」が求められるわけです。

また、頻度は参加しているクラブによって変動しますが、およそ1～2週間に1度の「例会」と呼ばれる会に参加して、会員同士の親睦をはかるといっても、こうしたクラブの目的のひとつとされています。多くの社会奉仕団体においては、この「人脈作り」もクラブ入会の重要な目的であるとされています。

※ロータリークラブとライオンズクラブ

「ロータリークラブとは」

ロータリークラブ (Rotary Club) とは、国際的な社会奉仕連合団体「国際ロータリー」のメンバーである単位クラブのことを言います。クラブとは「奉仕をするクラブ会員であるロータリアン個人の集まり」を指し、国際ロータリーはそのクラブの連合体とされています。とはいえ、個人だけでなくクラブ単位・国際ロータリーとしての奉仕プログラムも行われています。

ロータリークラブでは会員の職業倫理を高める「職業奉仕」、そしてそこから広がる「社会奉仕」「国際親善」を目的とし、「Service Above Self (超私の奉仕)」「One profits most who serves best (最も良く奉仕する者、最も多く報いられる)」を標語として定めています。

社会奉仕という面においては、ボランティアなど

《事務局より》

JRC100周年記念ピンバッチ、希望者多数のためクラブで購入することと致しました。多くのスマイルお願い致します。

《出席報告》

会員数 46名 出席者数 28名 出席率 60.87 %
前回修正 出席者数 48名 出席率 100,0 %

前回の例会 [2483th] 2019. 6. 20~21

高島町役場 企画財政課

課長 金子昭一氏

に参加するというよりも、環境保護や社会活動に対する金銭的な援助や補助をメインとしているようです。

「ライオンズクラブとは」

ライオンズクラブとは、世界最大の社会奉仕団体「ライオンズクラブ国際協会」に所属する単位クラブのことをいいます。

ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体であり、「ライオン」とは偉大な行為、高い理想といったものを象徴しているんだとか。その頭文字は「Liberty Intelligence Our Nation's Safety (自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる)」というスローガンにもなっています。

ライオンズクラブは、ロータリークラブのように社会奉仕活動を職域や個人で行うだけではなくチームワークを発揮して行うことによって、有意義な効果をあげるように組織された団体です。

※2つのクラブの違いは？

※奉仕活動の取り組み方のちがひ

ライオンズクラブが奉仕活動を行う時には「我々は奉仕する (We Serve)」。すなわちクラブ全体でまとまって一つの事業に基金を拠出します。原則として個人個人では奉仕しません。

ロータリークラブは、全員がまとまって行う奉仕活動も沢山ありますが、基本的には「会員一人一人が奉仕活動の単位」です。すなわち、「私は奉仕する (I Serve)」「自己の責任と判断において、自分の職業を通して、社会に、世界に奉仕しよう」という考え方が基本となっています。



Rotary International District 2800
2019~2020
TAKAHATA ROTARY CLUB



WEEKLY REPORT

会長 小平和広 幹事 金子良弘 例会 毎週木曜日 12:30~13:30 旅館 エビスヤ

<http://takahata-rc.net> 事務局 山形県高島町大字高島911-2/2F tel 0238-52-5440 fax 0238-52-5444

本日の例会 [2485th] 2019. 7. 11

クラブ協議会

前回の例会 [2484th] 2019. 7. 4

2019-2020年度 会長所信表明

- ・点鐘12時30分 小平和広会長
- ・国歌 君が代
- ・ロータリーソング 奉仕の理想
- ・ソングリーダー 青木道春君
- ・S A A 鈴木司郎君

会長あいさつ

小平和広会長

皆様こんにちは。7月1日より会長を務める事になりました、小平和広です。

高島ロータリークラブに入会して12年が経ちました実績もない私ではございますが、53代目の会長として、伝統ある高島ロータリークラブの名に恥じないよう一生懸命頑張りますので、会員皆様のご協力をよろしくお願い致します。

吉田前会長におかれましては、持ち前の明るさと強力なリーダーシップで私たち会員をリードして頂き、高島ロータリークラブに新たな1ページを残されました。また、会長を支えられた黒澤幹事を始めとする役員の皆様一年間本当にお疲れ様でした。この場をお借りし感謝とお礼を申し上げます。

さて、今日は今年度初めての例会という事もあり、多くの会員の皆様にご出席いただき感謝申し上げます。毎回このように多くの会員の皆様に出席頂くにはどうすればいいかと考えてい

たところ、尊敬する先輩会員より、私の仕事に関することをテーマにしたかどうかというアドバイスをいただきましたので、早速取り入れて時々、皆様の仕事に役に立つテーマを選んで、次回よりその話をしたいと思います。

さて、いよいよあと一年でオリンピックが開催され、その予選も始まっております。勝負には勝者と敗者がおりますが、最近、試合もさることながら敗戦の弁に注目して見ております。

少し前のこととなりますが、今年の箱根駅伝は青山学院大学が5連覇を逃しました。原監督の敗戦の弁は、自分の選手起用のミス、つまり第何区の選手を別の選手を充てれば良かったと言いました。自分の全責任と言いながら選んだ選手を傷つける言葉が非常に気になりました。

一方、同時期に行われたラグビーの選手権では、準決勝で天理大学に大学日本一10連覇の夢をくだかれた帝京大学の岸監督は、「連覇が止まるのは悲しいことではなく次へのステップ。若いんだからまた前を向いて進んで欲しい」とコメントし、選手らのミスのことは一切語りませんでした。皆様はどう思われるでしょうか。

監督や選手のコメントにも傾聴するのも、楽しみの一つではないでしょうか。

今回は「パワハラ」についてお話をさせて頂く予定です。是非、皆様ご出席ください。

最後になりますが、6月17日に高橋尚男さんより退会届が提出されました。ご自宅にお伺いし何とか留まるよう申し上げましたが、意志が固く説得することが出来ませんでした。根津さんを含め2名減のスタートとなることから予算を組むのが大変難しく、理事会において移動例会の登録料を2,000円から3,000円にさせて頂くことに決定いたしました。皆様には出費多難のおり大変申し訳ありませんが、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。